

平成 27 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書
(抜粋)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

ページ

・ 事 業 計 画 書	-----	1
・ 収 支 予 算 書	-----	9

事業計画書

平成 27 年 度 事 業 計 画

平成27年度は公益財団法人として新たなステージに進み、これまで以上に公平・公正に市民の利益向上に努め、教育文化の振興に寄与することを目的に健全な事業運営に取り組んでまいります。

埋蔵文化財の発掘調査事業は、市内の遺跡発掘調査をはじめ、浜通り地方の大震災被災市町村の発掘調査を受託し、市内・外の復興を加速させるとともに、被災市町村に関連する出土資料の公開・展示を行うなど、文化財の保護及び啓発事業を積極的に推進してまいります。

教育文化及び生涯学習施設の指定管理運営事業においては、新たに勿来勤労青少年ホームを3年間、生涯学習プラザを5年間受託いたしました。これまでの管理施設と併せて8施設の指定管理者として、利用者のニーズを捉え、市・県民の付託に応えてまいります。

1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）

（1）事業計画

本年度事業は、震災復興関係及び一般住宅等の試掘調査が2件、本発掘調査では震災復興関係事業、市道改良工事事業、泉第三土地区画整理事業のほか福島県・檜葉町を含む5件、また、本発掘調査の終了後に行われる資料整理・報告書作成・刊行では広野町を含む9件を予定しております。

これらの事業を実施するに当たっては、本発掘調査における安全な作業環境の確保と事故防止、事業の円滑化に努めるとともに、調査遺跡や出土資料の公開・展示などの活用を図ってまいります。

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査	いわき市 (文化・スポーツ課)	市内一円	試掘・本発掘調査、 整理・報告書作成
2	市内遺跡試掘調査 (復興交付金・岩間地区)	いわき市 (文化・スポーツ課)	岩間地区	試掘調査、整理・ 報告書作成、刊行
3	市内遺跡発掘調査 (復興交付金) (H26繰越)	いわき市 (文化・スポーツ課)	市内一円	本発掘調査、整理 ・報告書作成、刊 行
4	泉第三土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査 (その1)	いわき市 (小名浜区画整理 事務所)	泉町A遺跡	本発掘調査、整理
5	寺前・源道平線埋蔵文化 財発掘調査	いわき市 (勿来区画整理 事務所)	後田遺跡・ 後田古墳群	本発掘調査、整理
6	江畑堀ノ内館跡埋蔵文化 財本発掘調査業務	福島県	江畑堀ノ内館 跡	本発掘調査

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
7	高橋遺跡埋蔵文化財本発掘調査業務	檜葉町	高橋遺跡	本発掘調査
8	埋蔵文化財発掘出土品等整理	いわき市 (文化・スポーツ課)	館山横穴群・ 久保ノ作古墳群	整理・報告書作成、 刊行
9	市内遺跡試掘調査	いわき市 (文化・スポーツ課)	上野遺跡	報告書作成、刊行
10	いわき市立総合磐城共立病院新病院建設発掘調査	いわき市 (共立病院)	久世原館跡・ 番匠地遺跡	報告書作成、刊行
11	白岩堀ノ内館跡	民間	白岩堀ノ内館跡	整理・報告書作成、 刊行
12	泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査(その2)	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町A遺跡ほか	整理
13	泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査(その3)	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町C遺跡2 区外	報告書作成
14	餓鬼堂地区埋蔵文化財発掘調査	いわき市 (市林務課)	餓鬼堂横穴群	整理
15	一般国道6号久之浜バイパス前上ノ山遺跡埋蔵文化財発掘調査業務	磐城国道事務所	前上ノ山遺跡	整理・報告書作成、 刊行
16	桜田IV遺跡本発掘調査に伴う整理作業及び報告書作成業務	広野町	桜田IV遺跡	整理

2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

(1) 事業計画

ア いわき市アンモナイトセンター

一般体験発掘事業は、個人や家族を対象とした体験発掘を毎週土曜日・日曜日・祝日の他、5月・9月の連休及び8月のお盆休みの実施に向けて取り組んでいきます。特別体験発掘事業は、学校などの団体を対象としたカリキュラムとして、一般体験発掘実施日以外の開館日に実施します。

親子自然探訪教室は、ハッピーマンデーとなる祝日を中心に年6回、親子を対象として自然科学分野に関する各種体験教室を開催します。身の回りの自然や現象に触れることで、自然科学分野への興味を深め、科学する心を育てます。

企画展は、小・中学校の夏休みにあわせ「アンモナイトの進化と造形展」

(仮)を、冬休みには「コハクのひみつ展」(仮)を開催し、いわきから産出する化石への理解を深める企画展示・体験を実施します。

公開シンポジウム(化石講演会)は、9月に久之浜中学校を会場にして、いわき地域の地層と化石に関する講演会を実施し、地元の小・中学生はじめ一般市民に古生物の魅力を伝えることを目的に開催します。

出前講座は、学校での授業や各種イベントに出向き、いわきの地層とアンモナイトに関する講義の他、ミニ体験発掘・化石クリーニング体験やコハクのアクセサリーづくりなどを通して、化石への興味関心を深めるとともに、アンモナイトセンターの魅力を知らせ、きっかけ作りを目的として実施します。

イ いわき市考古資料館

企画展は、4～8月に第1回企画展「近世いわきの藩展Ⅱ「磐城平藩一鳥居・内藤時代一」、9～11月に第2回企画展「平成26年度発掘速報展」、1～3月に第3回企画展「道具の歴史Ⅱ『遺跡から出土した石の道具一』」、1月にミニ企画展「干支一さる一」の4回開催します。理解を深めていただくため、展示解説会、遺跡報告会、講演会、見学会等の事業をあわせて開催します。また、10～12月に福島県立博物館の企画展「被災地からの考古学1～福島県浜通り地方の原始・古代～」の移動展を開催します。

新たな講座として成人を対象とした「いわきの歴史講座」を全6回、継続講座として夏休みの児童を対象とした「自由研究に挑戦しよう!!」、質の高いボランティアを養成する「ボランティア養成講座」を開催します。

体験学習会は、「GW体験学習会」・「夏休み体験学習会」・「古代まつり」のほか、「勾玉づくり体験会」を夏・冬休みに合わせて計13回開催します。夏休み最後の土・日曜日には「いわきキッズミュージアム」を開催します。

歴史に関する問合せや資料の貸出及び団体への解説や体験指導、また、学校などからの要請により先方へ出向いて開催する出前講座等についても、積極的に対応してまいります。

ウ いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

文学館では、春、夏、秋、冬の計4回の企画展を開催します。

春の企画展「草野心平の詩 視覚詩編」では、草野心平(1903～1988)の多彩な創作から絵画的な手法を用いた視覚詩にちなんだ作品に焦点をあて、独特な表現手法を紹介します。

夏の企画展「新美南吉展 光りかがやく作品」では、「ごん狐」「手袋を買いに」等、温かな眼差しによって紡ぎだされた物語で知られている新美南吉(にいみなんきち 1913～1943)の生涯と作品の魅力を紹介します。また、南吉と草野心平との関わりとともに、1961年、美智子皇后から当時の小川小学校戸渡分校に贈られた「新美南吉全集」にもふれます。

秋の企画展「星新一・星一展」では、短編小説より短い「ショートショート」と呼ばれる1,000余編の作品を手がけた星新一(1926～1997)と、新一の父星一(ほしはじめ 1873～1951 いわき市錦町生まれ)の足跡をたどり、新一作

品の魅力、一の活動やいわきとの関わりを紹介します。

冬の企画展「草野心平のスケッチ」では、草野心平が手がけたスケッチ作品を紹介します。

また、いわき地域ゆかりの文学者などを紹介するスポット展示を計4回開催します。あわせて、サマーナイトの催し、親子で楽しめるワークショップなどのほか、文学館が建つ地元小川町の団体との連携イベント、ボランティアとの連携事業などを継続します。

生家では、「心平誕生日の市民朗読会」「子どもじゃんがら」「草野天平の集い」などを開催します。

エ いわき市暮らしの伝承郷

企画展は、4～5月に「伝統こけし展 - 弥治郎系 -」、7月～9月に「絵本・紙芝居と野村たかあき作品展」、12～1月に「伝承郷収蔵品展 - タバコパッケージ展 -」の3回開催します。特別展は、3月に「炭鉱（やま）への想い - 菊地正男絵画展Ⅱ -」を行います。

講座は、民俗学講座を5回開催します。体験事業は、技術の伝承や伝統に親しむための体験学習を、四季折々の特色や年中行事の要素も織り交ぜながら28回開催します。新たに「布ぞうり作り」「竹トンボ・ブンブンゴマ」などを取り入れます。

そのほか、近年、行われることが少なくなった行事を再現する「節句飾り」や「盆棚飾り」、「正月飾り」などの年中行事も、例年通り22回実施し、内容や規模の拡充を図ります。

古民家を中心とした園内の景観や昔の暮らしそのものを復元することにより、生活文化の伝承をめざします。また、ウグイや鮎などの川魚、つるし柿や梅干し・干しダイコン・とうがらしなど実物の展示や、菜の花・朝顔・ひまわり・きゅうり・白菜などの花木・野菜を育成するなど、来園者に親しみの持てる空間の提供に努めます。

なお、従来の利用者層を維持し、ホームページにて伝承郷の利用画像や企画展の紹介画像をアップするなど、新たな利用者層の拡大に努めます。

オ いわき市生涯学習プラザ

平成27年度は、新たな指定管理期間5カ年のスタートとなり、また、第5期生涯学習推進計画が3年目を迎えます。生涯学習の拠点施設としての役割を踏まえ、次のように事業を推進し、多様な市民ニーズに応えられるよう努めてまいります。

プラザが企画し運営する25の主催講座に加えて、サークルが自主運営する「サークル企画講座」、ITボランティアや子育て支援ボランティアが運営する「ボランティア活用講座」は参加者から高い評価を得ており、今後も継続して実施いたします。市民ニーズが高く応募者が多い「パソコン実用講座」は、引き続き内容の充実を図り開催してまいります。また新規事業として、インターネット等の安全な利用の仕方を学ぶ「メディア指導員養成講座」を開催します。

他団体との共催事業としては、(一社)茶道裏千家淡交会いわき支部との「お茶会」、いわき華道連合会との「生け花展」などを開催いたします。

さらに全市的な事業として、11回目を迎える生涯学習フェスティバルを実施し市民の交流の場として一層充実させます。また、いわきヒューマンカレッジ(市民大学)は、平成27年度から委託事業となることから、内容の充実とともに一層の効率化を図ってまいります。

カ 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき海浜自然の家は、心身ともに健全な青少年の育成と生涯学習の振興のため、利用者の自主・自立的な野外体験活動を支援してまいります。

利用者の事故防止や安全管理はもとより、多様なニーズや目的に応じた事業の充実を図り、効率的で柔軟な管理運営を行ってまいります。とくに、公民館をはじめ、他の教育文化施設との連携、ボランティアの養成等に努め、利用者の拡大と満足度の向上を図ってまいります。

春と秋の、年2回のオープンデーや、森の音楽会などの利用促進事業、夏には、ふれあいサマーキャンプ、秋には、わくわくオータムキャンプなどの啓発事業、冬には、会津自然の家との協力事業として、福島の冬！ウインターフェスティバルなどを開催してまいります。また、国立那須甲子青少年自然の家との共催で好評だったキンボール教室を、いわき独自の企画事業として実施してまいります。

職員の知識と技能、接遇の向上を図り、「心配り」「気配り」のある健全な施設の管理運営と、県教育庁と密接に連携を図りながら、県民に親しまれる施設づくりに努めてまいります。

キ いわき市勿来勤労青少年ホーム

勿来勤労青少年ホームは、市から指定管理者として、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間の指定管理を受託しました。

運営に当たっては、条例・規則をはじめ関係法令を遵守し、市民が平等に安心して利用できるように、公平な運営に努めます。また、円滑な管理運営を行うため、地域との協調・連携をはかります。

施設の維持管理、設備の保全等に努め、利用者のニーズを把握し、勤労青少年の意向を反映した内容の講座を開設します。

また、生活、職業等に関する相談及び指導のほか、各種レクリエーション活動や交流の輪を拡大するなど、勤労青少年の健全育成に努めます。

ク 市収蔵化石資料整理事業

市収蔵化石資料の整理(分類・登録・修復・保存処理など)については、平成23年度から市緊急雇用創出事業として実施してまいりました。しかし、本事業も平成26年度をもって終了となり、整理作業は一部未完のままの状況にあります。

このことから、いわき市の化石資料の重要性を鑑み、市民に広く公開・展示

し、教育文化の振興をはかるため、本化石資料の整理事業は、平成27年度自主事業として実施したいと考えます。

3 管理部門（法人会計）

（1） 業務執行体制等

公益財団法人へ移行して2年目となることから、関係法令及び諸規程を遵守し、円滑な管理運営事務の遂行に努めてまいります。各所属の事業運営に見合った組織づくりをはじめ、職員の資質向上のための研修に取り組んでまいります。また、新たに指定管理を受託したいわき市勿来勤労青少年ホームは、これまでの事業及び管理状況を踏襲し、利用者や利用者懇談会等との協働による事業運営を行ってまいります。

（2） アクションプラン（行動計画）の作成

平成27年度は、新たなステージをより進化させるため、事業目標を掲げ、それぞれの項目達成に向けて、さまざまな事業を展開してまいります。企画部門、文化財部門、施設部門（アンモナイトセンター、考古資料館、草野心平記念文学館、暮らしの伝承郷、生涯学習プラザ、海浜自然の家）がそれぞれの役割と特徴を理解し、相互に連携・協調して、活力に満ちた事業運営に取り組んでまいります（別冊「平成27年度アクションプラン」参照）。

（3） 情報開示

当財団の事業計画や事業報告、決算に関する財務諸表などの公開はもちろん、管理運営する事業の内容などについても、ホームページを通じて迅速な情報提供・発信に努めます。また、法人運営全般について、公正・公平性や透明性の確保に努めてまいります。

（4） 研修、啓発広報等

利用者への「安全・安心の確保と提供」、「満足いただけるサービスの提供」、「質の高い専門性の提供」等の一層の向上を図るため、自主研修制度（図書購入補助を含む）を積極的に活用し、関係資格の取得や研修の参加を推進します。また、公民館講座等の講師、地域に出向いての出前講座や展示会・講演会の開催、「たからものずかん」の刊行・活用など、当財団の専門性を市民に啓発広報してまいります。

4 職員に関する事項

平成27年1月1日現在

(1) 事務局

(括弧内数字：兼務職員数 単位：名)

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
事務局	1	3	—	—	—	—	—	4
企画管理係	—	1	—	1	1	—	4	7
調査第一係	—	—	1	1	3	2	—	7
調査第二係	—	—	2	—	—	—	18	20
計	1	4	3	2	4	2	22	38

(2) 施設

区分	館長 副館長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
アンモナイト センター	1	—	1	—	—	1	1	4
考古資料館	(1)	(1)	(2)	—	(1)	—	5	5 (5)
文学館	2	—	2	—	—	—	6	10
伝承郷	1	—	1	—	—	1	9	12
生涯学習 プラザ	1	1	1	—	2	—	6	11
いわき海浜 自然の家	1	1	1	1	3	2	6	15
計	6 (1)	2 (1)	6 (2)	1	5 (1)	4	33	57 (5)

合計	7 (1)	6 (1)	9 (2)	3	9 (1)	6	55	95 (5)
----	----------	----------	----------	---	----------	---	----	-----------

収 支 予 算 書

収 支 予 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益 (A)	32	32	0	
基本財産受取利息	32	32	0	
事業収益 (B)	588,528	757,968	△169,440	
文化財調査受託料	203,316	346,868	△143,552	16件の事業受託
施設指定管理料	376,817	371,897	4,920	8つの施設
いわき市アンモナイトセンター	16,432	16,432	0	
いわき市考古資料館	12,901	12,901	0	
いわき市立草野心平記念文学館	67,794	67,794	0	
いわき市草野心平生家	3,151	3,151	0	
いわき市暮らしの伝承郷	40,450	40,450	0	
いわき市生涯学習プラザ	85,304	93,349	△8,045	
福島県いわき海浜自然の家	138,470	137,820	650	
いわき市勿来勤労青少年ホーム	12,315	0	12,315	
施設事業受託料	3,633	34,573	△30,940	1件の事業受託
緊急雇用創出事業収蔵化石資料整理	0	13,242	△13,242	
緊急雇用創出事業文学資料確認整理	0	4,628	△4,628	
緊急雇用創出事業伝承郷農村復元	0	15,121	△15,121	
ふくしまっ子自然体験活動応援	0	1,582	△1,582	
いわきヒューマンカレッジ	3,633	0	3,633	
施設利用料	4,575	4,392	183	1つの施設
出版物頒布料	187	238	△51	
受取負担金 (C)	0	168	△168	
講師派遣料	0	168	△168	
受取寄附金 (D)	0	0	0	
寄附金	0	0	0	
雑収益 (E)	333	249	84	
受取利息	23	23	0	
雑収益	310	226	84	
経常収益計 (F)	588,893	758,417	△169,524	(A~E)
(2) 経常費用				
事業費 (G)	579,645	724,941	△145,296	
給料手当	142,141	151,224	△9,083	
賃金	160,743	197,526	△36,783	
共済費	43,810	51,605	△7,795	
報償費	5,957	5,127	830	
旅費	5,238	5,119	119	
消耗品費	9,033	12,944	△3,911	
被服費	469	603	△134	
燃料費	10,880	13,218	△2,338	
食糧費	273	301	△28	

収 支 予 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
印刷製本費	14,677	19,031	△4,354	
光熱水費	33,559	32,687	872	
修繕費	5,221	6,941	△1,720	
医薬材料費	130	127	3	
通信運搬費	7,588	6,990	598	
広告料	330	352	△22	
手数料	1,673	2,807	△1,134	
保険料	921	1,197	△276	
委託料	65,774	76,490	△10,716	
使用料及び賃借料	40,226	61,159	△20,933	
工事請負費	994	42,202	△41,208	
原材料費	509	1,067	△558	
負担金	371	449	△78	
公租公課	27,708	34,099	△6,391	
消耗什器備品費	878	1,121	△243	
減価償却費	542	555	△13	
管理費	32,540	34,836	△2,296	(H)
報酬	399	399	0	
給料手当	10,671	10,691	△20	
賃金	7,005	6,879	126	
共済費	3,634	3,866	△232	
報償費	440	687	△247	
旅費	732	1,584	△852	
交際費	80	80	0	
消耗品費	590	646	△56	
被服費	30	60	△30	
燃料費	72	144	△72	
食糧費	90	90	0	
印刷製本費	2,036	1,697	339	
光熱水費	150	20	130	
修繕費	200	178	22	
通信運搬費	168	132	36	
広告料	50	150	△100	
手数料	496	496	0	
保険料	82	49	33	
委託料	415	1,521	△1,106	
使用料及び賃借料	2,122	1,215	907	
負担金	732	462	270	
補償費	38	38	0	
公租公課	1,628	3,252	△1,624	
消耗什器備品費	500	500	0	
減価償却費	180	0	180	
経常費用計	612,185	759,777	△147,592	(G+H)

収 支 予 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
当期経常増減額 (J)	△23,292	△1,360	△21,932	(F-I)
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計 (K)	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計 (L)	0	0	0	
当期経常外増減額 (M)	0	0	0	(K-L)
当期一般正味財産増減額 (N)	△23,292	△1,360	△21,932	(J+M)
一般正味財産期首残高 (O)	104,248	104,248	0	
一般正味財産期末残高 (P)	80,956	102,888	△21,932	(N+O)
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 (Q)	0	0	0	
指定正味財産期首残高 (R)	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高 (S)	10,000	10,000	0	(Q+R)
III 正味財産期末残高	90,956	112,888	△21,932	(P+S)

資金調達及び設備投資の見込について

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

1 資金調達の見込について

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使途	

2 設備投資の見込について

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	
公1	埋蔵文化財整理室整備	900千円		自己資金	
法人会計	事務局事務室整備	900千円		自己資金	